
始り = 終り

S S F D

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

始り＝終り

【ZPDF】

Z9898M

【作者名】

S S F D

【あらすじ】

とある世界では止まない戦争が日々続いている。

誰も止めることはできない、いや止めない。

誰もが戦争に生きがいを感じている、もしくは楽しさを覚えているそんな世界であった。

これはそんな世界のことを描いた影国宵壘という男の物語である。始りがあれば終りがある。終りがあればまた始りが・・・世界はそんな終わらない無限の繰返しを送っていた・・・。

新たな始り

2006年冬。

とある世界では休む暇がないほど毎日のように戦争が行われている。そんな世界には特殊な魔法と呼ばれるものを使えるものが存在し、各個人で特殊な能力を持つ者も存在する。

そんな世界も今、終りを告げようとしていた。

それは冬の終り頃の1月1日の出来事であった。

セフィロト国という世界で最も大きい国が全国に宣戦布告をした。

国の数は、セフィロト国を含め7カ国存在する。

光の国セフィロト、水の国ゼノビア、火の国ローディス、風の国ハイランダ、雷の国インダリグ、土の国カアシュ、闇の国ヨキューの7カ国だ。

この7カ国の中に小さい国がいくつも同盟を結んで上ののような国が出来上がっている。

セフィロト国の一宣戦布告によつて世界は荒れると思つたが、実際はそれよりも前に世界は動搖を隠せなかつた。

それは何故か？

なんど、この世界は1か月前より閉鎖（消滅）する」とが確定していたのだ。

1月の終わりには宇宙から隕石の大量落下がくると確信がつき、世界は滅びる、と。

それを聞いた全世界の国民は、毎日が戦争尽くしで、最後に生きがいともなつてゐる戦に心が弾んでいるようにも見える。

そして1月の下旬。

1か月の世界大戦は誰もが予想をしなかつた結果に終わる。

なんと、どの国も滅亡をしなかつたのだ。

人数が少ないカシア国と「キュー」国は互いに同盟を結び、後半、インダリグとも同盟を結んでなんとか生き延びた。

ついに無数の隕石が落下してくるのが世界の人々の目に映るようになつた。

このとき、誰もが終りだと思った。

しかし、絶望に陥る者も中にはいたが、ほとんどは笑顔でその終焉を迎えるようとしていた。

酒を飲みかわす者、剣を交える者、会話している者、買い物をしている者、空を見上げる者、陰に隠れる者、遊ぶ者、祈る者、安全な

場所を探す者、悪あがきをする者、別れを告げる者。

様々な者が様々な行動を行い、世界は火の海に包まれ全てが一瞬で一掃された。

それから何百年が経つた。

何もなくなつた世界には新たな人類が誕生していた。

その人種は4年前と同じように特殊な力を扱える。

さらに、環境が変わつたせいか、寿命も何倍にも伸びていた。平均寿命は200歳までなつていてる。

そんな世界の中にはやはり国が存在し、全部で10カ国ある。

そんな世界の中に私は生まれ、私の人生が再び始まるうとしていた。いや、始つた。

完

新たな始り（後書き）

うん、私の物語でも書こうかなと思っています。
ただ、記憶にない（特に名前）ことが多いのでほとんどの
読む人いないようになくな（あ
では）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9898m/>

始り = 終り

2010年10月15日21時40分発行